

落ち葉で遊ぼう

横山解子（四街道市）

日 時：2023年11月19日（日）10：30～12：00、天気：快晴

参加者：24名（大人12名、子ども12名）

担当指導員：晝間 戸村 横山 参加指導員：岡田 小川 相吉

前日の強風が収まり、絶好の観察日和。元気いっぱいの子もたちがどんどん集まってくる。それぞれにビニール袋を渡して、色や形、大きさなどが違ういろんな落ち葉を集めて、後でその落ち葉で遊ぶことを伝えて順次出発する。先ず入り口のムクノキの葉から、ざらざらした手触りを確かめ、「すべすべの葉はあるかな？」と、呼びかける。色づいて目立つヌルデやツタウルシはかぶれることを話すと、「言われなかったらさわってたよ」と子どもたち。ケヤキの下では種を飛ばす葉っぱを確認。マンリョウやセンリョウ、ヤブコウジなど赤い実が賑やか。大きなヤツデの葉、長いクヌギの葉は子どもたちに人気がある。ドングリ、バッタ、オオアオイトトンボ、アカトンボ、キタキチョウなど、落ち葉を拾いながら子どもたちはいろいろ見つける。

坂道を進むと急に明るくなり、広々とした谷津田が現れる。アカガシ、ウワミズザクラ、ハリギリ、ヤマコウバシ、カキ、クワなどの落ち葉がいっぱい、ビニール袋はどんどん膨らんできた。あぜ道を歩いて田んぼの向こうに行くと、オオモミジの紅葉はイマイチだが、ムラサキシキブとサルトリイバラの実の美しいこと。

さて、あぜ道にグループごとに並んで、いよいよ集めた葉っぱで活動を開始。

- ①「葉っぱじゃんけん」・・・大きい葉っぱ、長細い葉っぱ、赤い葉っぱなど、いろんな葉っぱが「落ち葉ビンゴ」・・・事前に用意した8種類の葉の絵が描かれたますの上に、自分が拾った葉を置いていく。ちょっと難しいけど葉っぱを見比べながら探し当てていた。
- ②「落ち葉の冠づくり」・・・両面テープを貼った画用紙に好きな葉っぱを貼ってそれぞれの冠を作った。大きい葉っぱの好きな子、色で選ぶ子、それぞれ個性豊か。
- ③「落ち葉の小山作り」・・・グルーごとに落ち葉を集めて山を作り、その山を飛び越えたり、座ったりした。最後に、「落ち葉を自然に戻そう」とブルーシートに広げて、みんなで隅を持って揺らしながら少しずつ飛ばした。

飛んだ葉っぱはどうなるかな？すかさず「土になるんだよ」との声。そこで絵本「おちばのしたをのぞいてみたら・・・」（ポプラ社）の読み聞かせをした。子どもたちはみんなお話に釘付けで、落ち葉の下の世界に興味をもち、そこにもたくさんの命があり、自然が循環していくことに触れるきっかけとなったようだ。



落ち葉ビンゴ



落ち葉の山を飛んだよ